

3年学年だより

和歌山県立星林高等学校 10号
令和2年1月15日発行

◇ 新しい年のスタートです！

新年が明けました。今年は「丑（うし）年」です。みなさんは、十二支にまつわる物語を知っていますか？

昔々神様が、元旦に挨拶にきた動物たちを、一番に到着したものから十二番目まで順に、一年のリーダーに決めよう、と動物たちに競争をさせました。歩みのがのんびりしている牛は1番になるために誰よりも早く、前の晩に出発します。ところが牛の背中に乗っていたねずみが、神様の御殿の門が開いたとたんに飛び降りたためねずみが1番に。牛は2番となり、干支の順番は2番目になったという話があります。

牛はとても力持ちで、日本では昔から荷物を運ぶための労働力として、人の生活に欠かせない大切な動物でした。勤勉によく働くその姿が、「誠実さ」を象徴し、縁起の良い動物とされています。こうしたことから、丑年は「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」というような年になると言われています。

コロナウイルスの影響で、みなさんにとっては「耐える」場面が多くなりそうですが、「芽が出る」一年になることを心から祈っています。

◇ 明日はいよいよ共通テスト！

共通テストが明日に迫ってきました。受験生の皆さん、心の準備はできていますか？これから本格的な受験シーズンを迎えるので、本番を想定した学習環境や生活習慣が大切です。これまで頑張ってきた自分を信じ、平常心で本番を迎えられるようにしましょう。また、こうした状況なので、感染予防等の体調管理にも十分気をつけよう。

- ・テスト開始までは最悪の事態も想定しておく
- ・周りの受験生が賢そうに見えるのは気のせい
- ・テストがはじまったらプラス思考！
- ・わからない問題に時間をかけない
- ・終わったらそのテストのことは考えない

“がんばれ、受験生！”



◇ 家庭学習期間がはじまります！

18日（月）から家庭学習期間がはじまります。進路が決まっている人は、これまでとは比較にならない位の時間的余裕が生まれます。この余裕を浪費するのではなく、将来のための大事な準備期間にしよう。特に、不規則な生活を続けていると、新年度からのスタートに大きな影響を及ぼします。これまでと変わらない生活を心がけよう。

受験生は25日から個別試験（2次）対策の補習がスタートします。私たちもみなさんの合格のためにベストを尽くします。最後まで諦めずに取り組もう。

◇ 学習・進路関係

- ・16(土)・17(日)…大学入試共通テスト（和歌山大学）
- ・18(月) 9:00～ 共通テスト自己採点
（視聴覚と会議室で実施）
個別試験対策補習申込み受付〆切
- ・25(月) 卒業判定会議
※成績不振者には担任からの結果連絡あり
個別試験対策補習スタート

◇ 家庭学習期間中の登校日

- ・1/26、2/9、16、26（予行）の4日。
欠席者は別の日に登校してもらいますので休まないようにしましょう。
- ※「皆勤賞」候補者は、遅刻・欠席・早退には要注意！
- ・3月1日…卒業式！

～主任のつぶやき～

新年がスタートしました。今年はコロナの影響で、福岡県の実家に帰らずに、初めて和歌山で正月を過ごしました。普段は車で片道約9時間の運転をして帰省していたものですから、今年はずいぶん時間的な余裕がありました。そこで、お酒を飲む量も減らし、新年から近所の散歩をするなど、身体にも優しい生活を送りました。そして、私自身の今年の目標として、「減量」と「北海道か沖縄への旅行」（コロナが収束したらの条件付きですが）を決めました。

みなさんは目標を決めましたか？今年高校を卒業し、入学や入社など大きな環境の変化があるので、しっかりとした目標を定めて、新生活をスタートさせてください。いつも言っていますが、スタートダッシュが決まれば新生活はきつとうまくいくはずですよ。